

人の心は、空間も時間も超えて存在できません。過去にも、また未来に心を飛ばして夢を描くことさえできるものです。

ゴルフ界で一躍人気者になった、「八二カミ王子」のニックネームで親しまれている石川遼君(十六)は、杉並学院高一年生です。彼は、ことゴルフでは、卓越した実績の持ち主。その主なるところを列挙してみると、次のとおりです。

2004「横尾要カップ小学校選手権」
「埼玉県ジュニア選手権(中学の部)」優勝。
2005「関東中学校ゴルフ選手権競技」
「全国中学校ゴルフ選手権大会」優勝。
2006「埼玉県アマチュア選手権」
「埼玉県ジュニア選手権(中学の部)」優勝。
2007「全国中学校ゴルフ選手権大会・春季大会」そしてプロの「マンシングウェアオープンKSBカップ」
「日本ジュニアゴルフ選手権競技(男子十五〜十七歳の部)」で優勝と、圧倒的強さを見せています。彼の魅力は、平均飛距離と最後まで攻めの姿勢を貫く積極果敢さです。その強さの秘密は、陸上で鍛えた強靭な足腰ですが、そうした体力を築き上げているには、理由があります。そのことを裏付けるものが、埼玉県松伏町立松伏小の卒業文集に明記されています。

将来の自分

石川 遼

二年後… 中学二年生、日本アマチュア選手権出場。

三年後… 中学三年生、日本アマチュア選手権(日本アマベスト)。

四年後… 高校一年生、日本アマ優勝、プロのトーナメントでも勝つ。



目標は努力の母 そして進歩の父

え・牧えみこ

六年後… 高校三年生、日本で一番大きなトーナメント、日本オープン優勝。
八年後… 二十歳、アメリカに行つて世界一大きいトーナメント、マスターズ優勝。

これを目指してがんばります。マスターズ優勝はぼくの夢です。それも二回勝ちたいです。みんな(ライバル)の夢もぼくと同じだと思います。でも、ぼくは二回勝ちたいので、みんなの倍の練習が必要です。

みんなが一生懸命練習をしているなら、ぼくはその二倍、一生懸命練習をやらなないとダメです。ぼくはプロゴルファーになって全くの無名だったら、「もっとあのときに」ついでに「いつか後悔しないように」ゴルフをやつていこうと思います。

来年には埼玉の東京GCで行なわれる「埼玉ジュニア(中学の部)」で優勝したいです。今は優勝とか関係ありません。中学生になってからそういうことには「だわろう」と思います。高校生で試合に優勝すると、外国に招待してくれます。その試合で世界から注目される選手になりたいです。

ぼくは勝てない試合には今は出ません。ぼくの将来の夢はプロゴルファーの世界一だけと、世界一強くて、世界一好かれる選手になりたいです。

彼は、これからもこの文集で述べていることをきくと、やり続けることでしょう。

人の心には、信じられないほどの多くの能力・パワーが秘められています。「将来」は若者のためだけにあるのではなく、大人にも将来はあります。彼から学ぶのは、「目標は努力の母、進歩の父」ということです。常に意欲的な目標を掲げ、具体化して、大胆に取り組んでいきましょう。